



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立藻岩小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

○朝読書と図書ボランティアによる読み聞かせ

本校では、週に3日始業前の朝の活動で「朝読書」を行っています。子どもたち一人一人が読書に没頭し、普段はあまり本を手にとらない子も、この時間には全学年集中して読書を楽しんでいます。また、全学級に学級文庫を配置し、本を忘れても読書ができる環境を作りました。

今年度から全学年を対象に定期的に図書ボランティアが読み手となり、様々な物語の楽しさを味わうことができる時間になっています。



○先生のおすすめの本紹介

様々な本に関心をもてるように、図書室前の掲示板に、先生のおすすめの本とあらすじを書き紹介しています。「〇〇先生がおすすめしている本を読んでみよう」と子どもたちが読書に親しむ意欲付けとして行っています。

学習センターとしての機能

○学習における活用例

5年生の「やなせたかし『アンパンマンの勇気』」の学習の最後に、伝記を読みその人の生き方で自分に生かせそうだと思うところを考えまとめました。様々な伝記を読むことで、たくさんの人物の考え方を知り、それぞれの自分の考えを広げることができました。



○学習に活用できる本の収集

国語の詩の学習で詩集の本が必要になった時などに、詩集の本を集め、学年・学級で一括貸し出しをして学習に活用することができました。自分のすぐ手に入る場所に本があることで、隙間の時間など読むことができることにより、たくさんの詩集を読み学習に生かすことができました。

情報センターとしての機能

○学年ごとのコーナー

主に国語の教科書に掲載されている本や、同作者・同ジャンルの本をまとめたコーナーを作り、学習中や学習後に興味をさらに深めたり、読書の幅を広げたりするような工夫を行っています。まとめたコーナーを作ることによって、子どもたちも手に取りやすく、また教師も紹介しやすくなっています。

○教科に合わせた資料の充実

生活科や総合の学習に活用できるような本を充実させていくように心掛け、情報を更新・本の購入をし、新聞作成や情報をまとめる学習に役立てることができています。

